

## 卒業論文作成に向けて

### 6月 テーマの決定と資料収集

#### 5 ◆テーマの決定

- ①現時点までに学んできた内容を受けて、自分の興味があることや関心を持ったものに目をつけておく。
- ②研究対象となりそうなキーワードを辞書で引いてみよう。  
⇒辞書によっては書かれてるニュアンスが違うことも…!

10

#### ◆資料収集

- ①大まかなテーマが決まったら、その研究対象がこれまでどのように研究されてきたのかを調べる。

15

- ・「龍大図書館検索機能」、「CiNii」などを使って関連ワードを検索。
- ・気になる論文・書籍があったら、ファイリング。  
⇒論文の内容を自分なりにまとめて、メモをしておく◎
- ・積極的に疑問を持って、問題意識を明確に!
- ・論文・書籍の末尾に示された脚注や参考文献をチェック。  
⇒示された説はどこから出てきたのか、いつから始まったのか?

20

- ②迷ったら各所属ゼミの先生や、合同研究室の先輩方に相談!  
⇒読んでおくべき資料を紹介してもらって、資料収集を進めよう。

### 7月～9月 概要調査の継続と研究段階

25 ※あくまで目安なので早めに取り組むことを、意識しておいてください。

- ①集めた資料を本格的に読んでいく。  
⇒事前にファイリングやメモをしておく、後で読み返しやすい。  
繰り返して読むことで理解向上につながる。
- ②資料内容をまとめていこう。  
⇒研究に携わっておられた先輩方で意見が分かれている部分が出てくることも。  
意見が分かれた根拠を探って整理すれば、内容の濃い論文になる。
- ③全体の構成(章立て)を考える。  
⇒これまでの資料やメモをもとに、卒論の章立てを考える。  
断片的で構わないので、文章化してみる。

35

## 10月～11月 論文執筆期間

①資料整理が落ち着いたら、自分の論文題目を決定。

⇒10月に卒論の題目提出（章立てについては不要）が求められる。

※題目は一度提出すれば変更は不可、題目提出をしないと卒論提出も認められないので要注意！

②題目と章立てをもとに本文を執筆。

⇒荒い文章で良いので本文を執筆し、規定枚数に達する見通しを立てる。  
時間をかけて修正・加筆を加えて仕上げを行う。

## 12月 論文修正期間

①一通り書き終えた論文を各所属ゼミの先生に提出。

⇒先生からのご指摘を頂けるので、該当箇所を修正。

②訂正が終われば、再度提出して確認してもらう。

③問題なければ、自分で改めて確認。

⇒誤字・脱字はないか、体裁は整っているか、入念に確認しよう。

## 1月 卒論提出

①1月上旬に卒論を提出。

⇒日時をしっかりと確認、ファイルの色にも要注意！

②提出後は一安心だが、気は抜けない…。

⇒2月の口述試問に向けて、自身の論文の内容を理解しておこう。

## 2月 口述試問

①2月上旬に主審・副審による口述試問が行われる。

⇒自分の論文を端的に説明できるようにしておこう。

○最後に

卒業論文は大学生活の集大成となります。これは今までに学んだ内容を活かすことでもありますが、これまでに築き上げた先生方やご友人との関係をもって執筆することでもあります。悩んだ時はすぐに助言を仰いでください。もちろん合同研究室の先輩方も快く迎え入れてくれますよ。

この貴重な経験を自分の将来に活かして頂ければと願っております。